日本キリスト教団

東金教会〔９〕

２０２０年３月１日　復活前第６主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	安	延
奏楽	中	里
受付	澤	本
案内	三	枝
名札係	宮	中
礼拝感謝祈祷	井	上
〃　〃	武	田

前奏		中　里
讃美歌	８	一　同
信仰告白		〃
交読文	８	司・会衆
主の祈り	５６４	一　同
聖書朗読		安　延
ヨハネ福音書１２:１２～１３		
祈祷		安　延
新聖歌	２７２	一　同
み言葉の伝え		中　村
〈大勢の群衆の一人として〉		
讃美歌	２４７	一　同
聖餐式	配餐……	岡　村
		藤　本
	祈祷……	藤　田
		戸　波
讃美歌	５１１	一　同
献金		
礼拝感謝		井　上
〃　〃		武　田
報告		安　延
頌栄	５４１	一　同
祝祷(派遣)		中　村
後奏	新聖歌58	聖　歌　隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　３月４日(水)19:30～
早天祈祷会　月～金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習　本日礼拝後
招聘委員会　本日礼拝後
聖書輪読会　３月８日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　３月８日(日)10:25-10:30

【報告】

☆３月にはいり、春の息吹が少しづつ 感じられる季節となりました。身も心も伸びやかにされ、このときを過ごしたいものです。

☆週報棚に２月分の献金報告が入っております。ご覧下さい。

☆3月12日(木)ときがね幼稚園第92回卒園式はコロナウイルス蔓延により例年と変わり、簡素化されますが行う予定でおります。ご加祷下さい。

【定期長老会報告】1/12分続き

議事…④招聘準備委員会組織についての検討

【臨時総会報告】

日時…2020.1.26　場所…教会第二礼拝堂
出席…２７名(含・委任状１名)　陪席３名
議事…朴　　　牧師辞任の件
①朴　牧師より辞任申出に至る経過説明
②教会員より意見・質疑応答後採決
２７名中２６名賛成により可決

【定期長老会報告】

日時…2020.2.9　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　朴牧師　藤田　　(書記)
井上　　武田　　　森川
議事…①行事予定［教会］2/16朴牧師目白教会出張 2/21教会学校焼肉パーティ 2/26灰の水曜日(2/26)　3/10東総分区牧師会　続く

【分区・支区・教区報告】

○支区常任委員会　3/9 17:30　於・西千葉
○東総分区教師会　3/10 10:30～　於・東金

【東金教会学園理事・評議員会】

日時…３月２３日(月)１６：００
場所…２Fひつじ組教室

【３月１日～３月７日誕生者】

○薬師寺　　　姉　※おめでとうございます。
主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(2/23)	17	30	47
聖研祈祷会(2/26)	3	4	7
聖書輪読会(2/23)	2	3	5
教会学校(2/23)	2	9	11
山田台集会(2/25)	6	4	10

早天祈祷会			
日	男	女	計
2/24			
2/25	1	1	2
2/26	1	1	2
2/27	1	1	2
2/28	1	1	2

主日礼拝献金(２/２３)……５３,０００円
教会学校献金(２/２３)……７,９５０円

【今日のメッセージ】

題　〈大勢の群衆の一人として〉
聖　書　ヨハネ福音書12章１２節～１３節

１・

２・

３・

【次週(３月８日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈描いた夢〉
聖　書　マルコ福音書10章35～45節
交読文　９
讃美歌　９番　４９４番
新聖歌　１９５番

【次週(3月８日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…	中　村
司式者…	森　川
奏楽者…	中　村
受付者…	阿　波　谷
案内者…	藤　本
名札当番…	足　立
礼拝感謝祈祷…	足　立
〃　〃…	宮　中
ｃｓお話し…	中　村
会堂清掃者…	岡　部
〃　〃…	深　山
花係…	岡　部
看板書き…	戸　波

【聖書から】

「人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、『少しも無駄にならないように、残ったパン屑を集めなさい』と言われた。」

ヨハネによる福音書六章十二節

「ガリラヤ（地方、周辺という意味）」という旧約聖書の時代からあった何気ない地名が歴史的な背景によりいつの間にかユダヤ人社会からは蔑みと汚れの代名詞のようになりました。主イエスは、その只中で人々を教え、いやし、彼らの間に留まってくださいました。福音書には、所々「ユダヤ人の祭りが近づいていた」「その日は安息日であった」という表現が主イエスのなさった出来事の説明の中に記されることがあります。その日というのは、ユダヤ人なら、彼らが待ち望むメシアなら、なおさら徹底的に汚れから離れ、身を清めなければならない規定の日でありました。しかし、そのような時でさえ主は周辺に追われ、小さくされている人々の只中に留まっていてくださいました。そして、一人ひとりを招いてくださいました。弟子たちは目の前の群衆に対して責任はない、責任をとる力もないと言うばかりでしたが、主は弟子たちに命じました。「人々を座らせなさい」（十節）。ここでの「座る」は「（食事の席に）横になる、（食事の）席に着く」と訳す言葉です。キリスト教では、救いに招かれるということを主の食卓に招かれると言い表すことがあります。全く主ご自身の意思と業とによって私たちが主の備えられた食卓へと招かれている、救いの恵みを重ねることができます。そして、人々を満腹させたとき、主が命じられたこと「少しも無駄にならないように、残ったパン屑を集めなさい」という言葉は、六章二二節以降でその意図がはっきりしてくるように思われます。「わたしの父が天からのまことのパンをお与えになる。神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」（三二、三三節）、「わたしは命のパンである。」（三五節）主イエスの業に示される「世に命を与えるため」という御父の御心は必ず成し遂げられるようになる。イエス・キリストの恵みを決して誰一人に対しても無駄にならないようにする使命が今もなお教会に託されています。

―二月二六日　朴　貞蓮牧師説教―

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。